



令和御大典記念事業
大宮稻荷神社改修工事竣工

なかがみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

君が代は 千代に八千代に

さざれ石の いわおとなりて

こけのむすまで

第27号

令和2年

12月15日発行

奈加美神社

泉佐野市中庄 834

電話 462-7080

この度の奈加美神社末社大宮稻荷神社玉垣参道整備事業に際しまして、氏子崇敬者の皆様には真心の籠ったご浄財のご寄進を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、平成二十六年に発願してより六年の月日が経ちました。当初は奈加美神社改称百年の節目となる昨年の竣工を予定いたしておりましたが、平成三十年の大阪北部地震、台風二十一号等甚大な被害をもたらした自然災害により、計画の変更、建設費の高騰を余儀なくされ、大幅に遅延いたしました。

しかしながら工事関係者の弛まぬご努力により令和二年十二月十日をもちましてようやく竣工し、立派な大宮稻荷神社に甦りました。

十二月十日の午前十一時より竣工祭を執り行い、十九時よりは総代会参列のもと、奈加美神社の拝殿内仮殿にお鎮まりの大神様を新社殿にお遷し申し上げる遷座祭を厳粛に執り行いました。

工事を請け負って頂きました有限会社

岬造園土木を始め協力業者の皆様には、限られた予算の中で精一杯、それ以上の工事のご奉仕を頂きました。新しい社殿にお鎮まりになった大神様もさぞかしお慶びのこと存じます。神社関係者一同心より感謝申し上げます。

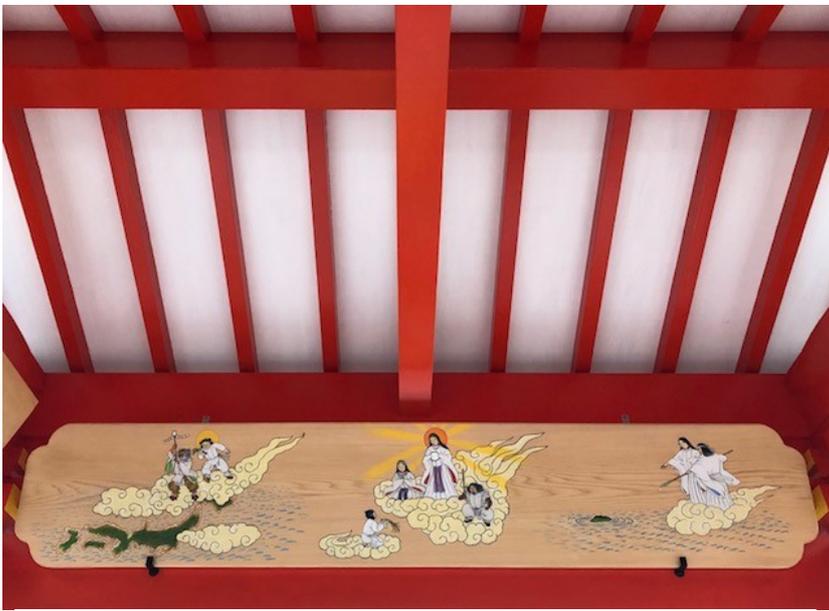
当事業は大宮稻荷神社遷宮より約五十年の歳月を数え、老朽化が著しく計画いたしました。伊勢の神宮から式年遷宮の古材を賜ったことにより大きく前進いたしました。そして昨年、「平成」から「令和」へ御代替りとなり、令和御大典記念事業と位置付けることとなりました。

正面より入って右側には和泉砂岩を用いた「神鏡」のモニュメントの伊勢神宮遥拝所、左側には「勾玉」の水盤の手水舎、鳥居横には「剣」のモニュメントと、「三種の神器」を配置いたしました。

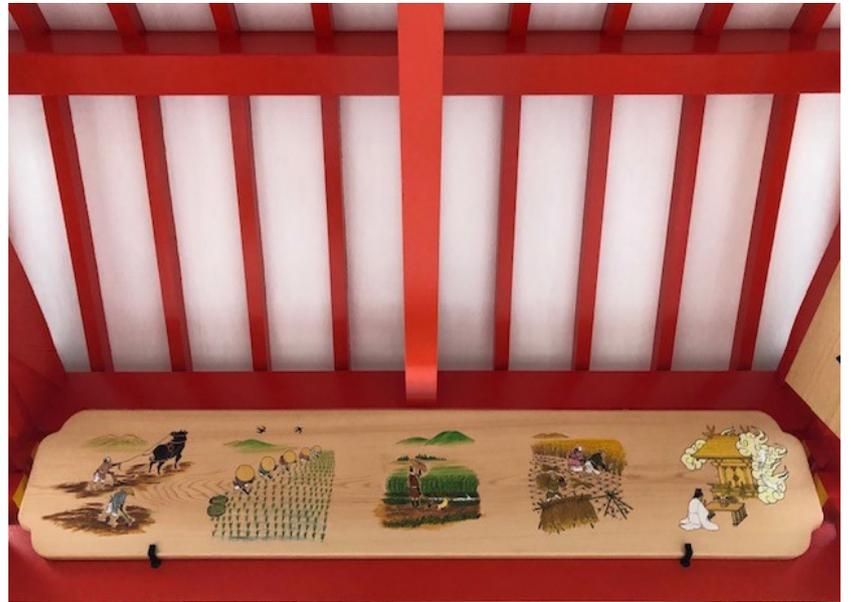
また本年は日本書紀撰上一三〇〇年の節目の年に当たり、神宮古材を用いて「三大神勅」の扁額、神話「天孫降臨」の絵図、「五穀豊穰」の絵図、を各所に設置いたしました。

このような歴史の巡り合わせと重なり、
当事業を終えることができ、大変有難く
感慨深いものがあります。

昨年は御代替りに際しての諸行事が厳
かに行われましたが、我が国日本は初代
神武天皇より数えて一二六代目の天皇を
戴きます。そしてその皇祖は伊勢の神宮
内宮にお祀りされている天照大御神です。
私たち日本人はそれぞれの氏神様を通
じて伊勢の神宮、そして皇室にも繋が
ります。その大いなるものに抱かれると言
いましょうか、心のよりどころを持つ素



拝所扁額「神話」 右から国生み・斎庭の穂・天孫降臨



拝所扁額「五穀豊穰」 田作りの営み～新嘗祭

晴らしい国柄です。初詣には真新しく甦
った諸施設を拝し、そのようなことを感
じて頂ければ幸甚に存じます。

本来でございましたら賑々しく奉祝行
事を行い、広く氏子の皆様にお披露目い
たすべきところではございますが、新型
コロナウイルスの感染状況を鑑み、十二
月十二日に奉祝大祭並びに式典のみ挙行
させて頂きました。

ご奉賛頂きました皆様には追って御礼
の記念品と共に事業のご報告を申し上げ

ます。

この慶事を契機に今後一層の御神徳の
宣揚、神社の発展に力を尽くす所存でご
ざいますので、氏子崇敬者の皆様には引
き続きまして温かいご支援ご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

新社殿について



今回の社殿の製作は、東日本大震災復
興支援で石巻市の鳥海神社さんに奉納さ
せて頂いた社殿を手掛けた、和歌山の藤
井勝明大工です。檜木を用いた流造りと
いう様式で、以前の社殿より約一・五倍
の規模です。

藤井大工さんは、大宮稻荷神社にはも
う少し大きい社殿の方が良いだろうと、
奈加美神社とのご神縁を大切に感じて頂

き、更に約一・五倍の規模の新社殿のご奉納のお申し出を頂きました。すでに和歌山の工場で作成に取り掛かって頂いており、来年中には完成の予定です。大変有難いお申し出に心から感謝を申し上げ、完成を楽しみにしていると伺っています。

現社殿については本殿左側の九尺藤の藤棚の少し奥に移設し、新たに神様をお迎えする予定です。

日本書紀撰上一三〇〇年

「日本書紀」は「古事記」とともに「記紀」と言われる日本の歴史書です。いずれも第四十代天武天皇（六七三年〜六八六年まで在位）が編纂を命じ、「日本書紀」は今から一三〇〇年前の養老四年（七二〇年）に完成しました。

先に完成した「古事記」は記憶力の優れた稗田阿礼（ひえだのあれ）が読み習った物語（帝紀・旧辞）を太安万侶（おおのやすまろ）が編纂した書物で、多くの人々に平易に読めるように、万葉仮名で記されています。

一方「日本書紀」は天武天皇の御子である舎人親王が編纂の中心となり、漢文体で記され、日本国の「正史」として国

内はもとより国外を意識して編纂されたものと考えられています。

「日本書紀」は三十巻から成り、神代の神話から、持統天皇（六九〇年〜六九七年まで在位）の御譲位まで収められています。

今回の令和御大典記念事業で特に取り上げさせて頂いたことは、神代の神話の中で、天照大神が子孫である皇子・天忍穗耳尊（アメノオシホミミノミコト）、皇孫・瓊瓊杵尊（ニニギノミコト）に授けた三つの神勅、「三大神勅（しんちよく）」と呼ばれるものです。

天壤無窮の神勅

豊葦原の千五百秋瑞穂の国は、
是れ我が子孫の王たるべき地なり。
爾皇孫、就きて治らせ、行矣、
宝 祚の隆えまさむこと、当に天壤と
窮り無かるべし。

豊葦原の千五百秋瑞穂の国（日本）は、私の子孫が天皇となる国です。その国に行つて治めなさい。その皇位は天地と共に永遠に栄えることでしょう。

う。

宝鏡奉斎の神勅

此の宝鏡を視まさむこと、
当に吾を視るがごとくすべし。
与に床を同じくし、殿を共にして、
斎鏡と為すべし。

この鏡を視ることを、私自身を視ることと同じようにしなさい。
この鏡と殿堂を共にし、斎鏡（ご神体）として祀りなさい。

斎庭の穂の神勅

我が高天原に所御す斎庭の穂を以て、
亦我が児に御せまつるべし。

私が高天原で育てた神聖な稲穂をあなたに授けましょう。

これらの神勅は歴代天皇に受け継がれています。皇位は一二六代に亘り受け継がれ、鏡（八咫の鏡）は伊勢の神宮、宮中賢所でお祀りされ、天皇陛下は皇居で

稲作を行われています。

悠か遠い神代から現代にまで受け継がれる世界に類を見ない皇室を頂く日本が、これから先も未来永劫に心豊かな平和な国であることを切に願います。



これらの三大神勅の扁額は、氏子地域上瓦屋に鎮座する航空神社の佐藤宮司の書に、氏子の彫師・西上興治氏が彫刻を施したものです。厚く御礼申し上げます。

新しい授与品のご紹介



○大宮稲荷神社 竣工に伴い「木札」と「一粒万倍御守」を新たに奉製いたしました。一粒の粃が万倍にも稔るといふ縁起を担いだ金運の御守です。



○奈加美神社定番の「心身健全御守」は一番人気のある御守です。昨年に続き新色を追加奉製し、全部で七色となりました。お好みの色をお選び頂き、身の守りとしてお待ちしております。

安産戌の日まいる

令和3年 安産戌の日表

1月	2日(土)	14日(木)	26日(火)
2月	7日(日)	19日(金)	
3月	3日(水)	15日(月)	27日(土)
4月	8日(木)	20日(火)	
5月	2日(日)	14日(金)	26日(水)
6月	7日(月)	19日(土)	
7月	1日(木)	13日(火)	25日(日)
8月	6日(金)	18日(水)	30日(月)
9月	11日(土)	23日(木)	
10月	5日(火)	17日(日)	29日(金)
11月	10日(水)	22日(月)	
12月	4日(土)	16日(木)	28日(火)

当社の主祭神は応神天皇(八幡さま)、配祭神には安産の神として信仰を集める母君の神功皇后がお祀りされております。目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂ける腹巻型の腹帯もお授けしております。お電話でのご予約をお願いします。



奈加美神社に伝わる大絵馬 円山応挙の門弟により描かれたもので、神功皇后と応神天皇を抱く武内宿禰。